

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	デイグ・スマイル高崎東教室				公表日 2025年10月1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境 ・ 体 制 整 備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		・広間に小さい机を設置したことで、作業活動の場が増えたところが良い点だと思う	・スペースは適切だが半個室のお部屋のため音が響きやすい ・扉の再設置等検討したい
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	4	・個別対応で忙しく感じることははあるが人員的には適切だと思う	・職員の急な休みに対して十分に対応できていないときがある ・その日ごとの子どもの状態によっては人手が足りないと感じるため、増員してほしい
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	2	・掲示物で熱中症予防を促すなどの対応がとられているところが工夫だと思う	・建物が古くバリアフリーに完全に対応しているとは言えない ・玄関スロープの傾斜が滑ってしまい少し危ない感じがする ・将来的に車いすの方にも利用していただけるように設備を整えていきたい ・支援し悦の段差が気になる。扉をつけることで危険度がさがるのではないか
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		・建物が古い分清潔に気を使っている ・毎日の清掃は欠かさずおこなっているところ良い点	・指導訓練室の一番奥の部屋は襖を締め切ってしまうと暑いので夏は熱中症対策を工夫した方が良い
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		・2階や階段下の部屋などの個室を状況に応じて利用できている ・子どもが個室で過ごしたいと申し出があれば使えるのが工夫点 ・とても有効に活用させてもらっている	
業務 改 善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	1	・朝会などで支援方法について検討・共有がされるため支援にあたりやすい	・非常勤職員の方にはうまく伝わっていない
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・評価表を保護者に記入してちあだいでいる ・HPで表を見られるようになっている	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		・朝会などで職員が思ったこと、考えたことを共有できるようになっている ・提案をしやすい	・改善につながりにくいときもある
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4		・あまりよくわからない ・どんな第三者委員会を作っていくか考えてみたい
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		・研修の案内を教室内で共有している	
支援 ・ 課 題 ・ 計 画	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		・プログラムカレンダーを毎月各家庭へ配布している	・更新されると新着情報とわかるように、もう少しHP上に分かりやすく載せるほうが良いのではないか
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		・面談や体験、会議などをもとに計画が作成されている	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		・朝会等でその都度共有し、検討が行われている ・朝会などでどんな支援をしていくか検討され、それが計画にも反映されている	

適切な支援の提供	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		・計画は回覧でも確認できるので全職員が計画を把握できる ・非常勤職員にも情報共有ができるとより支援がしやすくなるのではないか	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		・契約書や記録で確認できるようになっている	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		・計画書には具体的に支援内容が示されている ・その都度適切に対応している	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1	・担当の人が当日どんな活動をやるのか考えている ・担当日は事前に決めておき、余裕をもって準備できればと思う	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		・毎回同じ内容にならないよう考えている ・新しいプログラムがあるととても刺激的でいろいろ工夫していきたい ・多様なプログラムがあって良いと思う	・職員の一方的な話が多い回もあるので、子ども主体の活動も考えていけたらと思う
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		・個別、集団それぞれの計画が支援計画に示されている	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・プログラム担当や支援の対応について朝会の時点で決めている	・朝会に参加できないパートの先生やドライバーさんにも共有して行けたらと思う
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		・打ち合わせというより雑談感覚で情報共有ができている。朝会でも共有するので、前日にいなかった職員にも共有できる ・平日18時半から19時半におこなっており、とても大切に感じる	・終業前の振り返りや情報の共有の場の枠組み作りをおこなう必要がある
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・日々の記録は細かくできていると思う	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		・モニタリングを定期的に行い、必要性などを検討している	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6		・活動の視野を広げて支援が検討されている	
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		・職員が一方的に決めるのではなく、子どもの意思意見を聞いて支援にあたっている	
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		・会議は職員の所見も参考にして代表1~2名で参加している	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		・学校との連携は事業所側から密に行われていると思う	

関係機関や保護者との連携	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		・学校送迎時等に情報共有は行えている ・下校時刻はお便りや保護者、学校から確認している	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	・未就学児の受け入れを始めてからとてもうまく機能していると思う	・あまりよくわからない
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1		・あまりよくわからない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	2		・あまりよくわからない
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	6	1	・児童館や公園に行ったときに一緒に遊ぶ姿は見られるが、意図的に交流させてはいない	
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	2	4		・参加する機会は少ない ・あまりよくわからない ・今のところ参加を呼びかけられることがない
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		・帰りの送迎の際に今日の出来事などを伝えることができている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特レーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	・コノベル（連絡アプリ）にて行われている ・ここがとても重要なポイントです	・あまり行われていないと思う
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		・説明する機会は少ないが、機会があれば行っている ・書面や口頭で伝えられていると思う	
保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		・子どもの家族とコミュニケーションをとり、意思の尊重がなされた支援が行われていると思う	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		・計画についてはお渡しの際に確認している	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		・悩み、相談に耳を傾けて対応ができると思う	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5	・父母の会など直接的に関わり合い機会を設けることはできていないが、イベントへの家族参加の声掛けをおこなっており、昨年度参加実績がある	・父母の会や保護者等は今のところ開催されていない ・父母等が参画するとなると難しい点がいくつかあり、慎重な対応が求められる
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		・苦情があった場合の対応方法は明確に示されている	

保護者への説明等	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		・コノベル（連絡アプリ）を使って連絡がとれる体制が整っている ・HPにブログを載せており、活動の様子が伝わるようになっている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	1	・個人情報の流出防止に努めている	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		・様々な伝達方法でコミュニケーションをとっている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2	・夏祭りに招待する等している ・地域の方との交流の機会はほとんどない	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		・マニュアルは事務所にまとめられておりいつでも確認できるようになっている ・訓練も定期的に実施している ・マニュアルは実際にしっかりと活用している	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		・災害に備えた訓練は定期的に行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9		・薬については全職員に共有することができている	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		・おやつやお料理イベントでアレルギー食品を出さないようにしている ・エビペンの使用方法など共有している、実際の使用には決断力が必要	・AEDも必要に感じる
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	1	・安全計画は確認することができ、ヒヤリハットを出さないように努めている	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1		・あまりよくわからない
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		・少しでも危ないと思ったことは朝会で共有している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		・オンラインでの研修が全職員必須になっている ・学校以上にしっかりと取り組んでいる	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6			